

24文科高第1079号  
平成25年3月29日

国立大学法人愛知教育大学長 殿

文部科学大臣  
下村 博文



国立大学法人の中期目標を達成するための  
計画（中期計画）の変更の認可について

平成25年1月9日付け愛教大総第64号をもって、認可申請のあった標記の件については、申請のとおり認可します。



国立大学法人愛知教育大学の中期計画新旧対照表

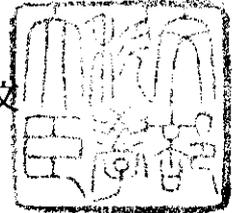
現 行	変 更 案	変更理由																																			
<p><b>X その他</b></p> <p><b>1 施設・設備に関する計画</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">施設・設備の内容</th> <th style="width:15%;">予定額 (百万円)</th> <th style="width:55%;">財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小規模改修</td> <td style="text-align:center;">210</td> <td>国立大学財務・経営センター 施設費交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 中期目標期間を超える債務負担</b></p> <p>○中期目標期間を超える債務負担</p> <p>・<u>中期目標期間を超える債務負担はない。</u></p>	施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財 源	小規模改修	210	国立大学財務・経営センター 施設費交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span>	<p><b>X その他</b></p> <p><b>1 施設・設備に関する計画</b></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">施設・設備の内容</th> <th style="width:15%;">予定額 (百万円)</th> <th style="width:55%;">財 源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員宿舎改修事業</td> <td style="text-align:center;"><u>総額</u> 410</td> <td><u>長期借入金</u> <span style="float:right;">(200百万円)</span></td> </tr> <tr> <td>小規模改修</td> <td></td> <td>国立大学財務・経営センター施設費 交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span></td> </tr> </tbody> </table> <p><b>3 中期目標期間を超える債務負担</b></p> <p>○中期目標期間を超える債務負担</p> <p><u>(長期借入金)</u></p> <p style="text-align:right;"><u>(単位：百万円)</u></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width:10%;">年度 財源</th> <th style="width:10%;">H22</th> <th style="width:10%;">H23</th> <th style="width:10%;">H24</th> <th style="width:10%;">H25</th> <th style="width:10%;">H26</th> <th style="width:10%;">H27</th> <th style="width:10%;">中期目 標期間 小計</th> <th style="width:10%;">次期以 降償還 額</th> <th style="width:10%;">総債務 償還額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>長期借入 金償還金 (民間金 融機関)</u></td> <td style="text-align:center;">—</td> <td style="text-align:center;">—</td> <td style="text-align:center;">—</td> <td style="text-align:center;">—</td> <td style="text-align:center;">10</td> <td style="text-align:center;">10</td> <td style="text-align:center;">20</td> <td style="text-align:center;">180</td> <td style="text-align:center;">200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 金額については見込みであり、業務の実施状況等により変更されることもあ る。</p>	施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財 源	職員宿舎改修事業	<u>総額</u> 410	<u>長期借入金</u> <span style="float:right;">(200百万円)</span>	小規模改修		国立大学財務・経営センター施設費 交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span>	年度 財源	H22	H23	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降償還 額	総債務 償還額	<u>長期借入 金償還金 (民間金 融機関)</u>	—	—	—	—	10	10	20	180	200	<p>平成25年度に計 画している職員 宿舎改修事業 (平成26年2月 竣工予定) に必 要な資金を長期 借入金で調達す るため。</p>
施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財 源																																			
小規模改修	210	国立大学財務・経営センター 施設費交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span>																																			
施設・設備の内容	予定額 (百万円)	財 源																																			
職員宿舎改修事業	<u>総額</u> 410	<u>長期借入金</u> <span style="float:right;">(200百万円)</span>																																			
小規模改修		国立大学財務・経営センター施設費 交付金 <span style="float:right;">(210百万円)</span>																																			
年度 財源	H22	H23	H24	H25	H26	H27	中期目 標期間 小計	次期以 降償還 額	総債務 償還額																												
	<u>長期借入 金償還金 (民間金 融機関)</u>	—	—	—	—	10	10	20	180	200																											



24文科高第1079号  
平成25年3月29日

国立大学法人愛知教育大学長 殿

文部科学大臣  
下村博文



国立大学法人の中期目標を達成するための  
計画（中期計画）の変更の認可について

平成25年3月28日付け愛教大総第77号をもって、認可申請のあった  
標記の件については、申請のとおり認可します。



## 国立大学法人愛知教育大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>① 現在の教育学部の規模及び課程を基礎に、愛知県内の出生数の変化や教員養成政策動向等を踏まえ、教育組織及び学生の配置の見直し並びに教員組織の見直しを進め、より効率的・効果的な教職員の配置を行い、教育効果を高める。</p> <p>② 全員担当を基本とする現在の教養教育の実施体制について、教養科目の内容及びグループ体制の再編を行い、教養教育を充実する。</p> <p>③ 教育実践に深く関わる教員養成系共同大学院博士課程を設置する。</p> <p>④ 学習サポートシステムを構築するための人的・物的支援環境を整備するとともに、多様な授業形態に対応できる教室等の整備や授業空き時間帯の教室の有効活用を進め、併せて大学院生の研究環境を改善するため、適切な学習スペースの確保を実現する。</p> <p>⑤ 附属図書館のハイブリッド化を一層進めるとともに、大学全体の教育の現代化・高度化にふさわしい施設・設備の改善充実に努める。</p> <p>⑥ 教員間で互いの授業を評価するとともに、学生による授業アンケート内容を再検討し、その結果の教員へのフィードバックを迅速化し、教員はそれをもとに自己評価を行い、より一層の授業改善を進める。そのため、専門性を持って取り組みに専念できる教職員の配置等の支援体制を構築し、FD</p>	<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>1 教育に関する目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(2) 教育の実施体制等に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>① 現在の教育学部の規模及び課程を基礎に、愛知県内の出生数の変化や教員養成政策動向等を踏まえ、教育組織及び学生の配置の見直し並びに教員組織の見直しを進め、より効率的・効果的な教職員の配置を行い、教育効果を高める。</p> <p>② 全員担当を基本とする現在の教養教育の実施体制について、教養科目の内容及びグループ体制の再編を行い、教養教育を充実する。</p> <p>③ 教育実践に深く関わる教員養成系共同大学院博士課程を設置する。</p> <p>④ 学習サポートシステムを構築するための人的・物的支援環境を整備するとともに、多様な授業形態に対応できる教室等の整備や授業空き時間帯の教室の有効活用を進め、併せて大学院生の研究環境を改善するため、適切な学習スペースの確保を実現する。</p> <p>⑤ 附属図書館のハイブリッド化を一層進めるとともに、大学全体の教育の現代化・高度化にふさわしい施設・設備の改善充実に努める。</p> <p>⑥ 教員間で互いの授業を評価するとともに、学生による授業アンケート内容を再検討し、その結果の教員へのフィードバックを迅速化し、教員はそれをもとに自己評価を行い、より一層の授業改善を進める。そのため、専門性を持って取り組みに専念できる教職員の配置等の支援体制を構築し、FD</p>	<p>大学間連携により教員養成の高度化に取り組むため。</p>

・SDの推進を図る。また、これらの取組の成果に基づき、大学改革支援のための競争的資金に積極的にチャレンジし、システム改善に役立てる。

⑦ 教育創造開発機構の下、教育科目等と教育実習の体系化を進め、教育実習の到達目標をより明確にするとともに、教育実習の成果をきめ細かく把握し、教育実践に関わる教育の充実を図るため、事前・事後の指導の充実及び実習時における実習校と連携しての学習支援を強化する。

・SDの推進を図る。また、これらの取組の成果に基づき、大学改革支援のための競争的資金に積極的にチャレンジし、システム改善に役立てる。

⑦ 北海道教育大学、東京学芸大学及び大阪教育大学との連携を推進し、全国の教員養成教育の諸課題に対応するための機構を設置し、その下に活動拠点としてセンターを置き、全国の教員養成系大学・学部との交流の拠点とする。

⑧ 教育創造開発機構の下、教育科目等と教育実習の体系化を進め、教育実習の到達目標をより明確にするとともに、教育実習の成果をきめ細かく把握し、教育実践に関わる教育の充実を図るため、事前・事後の指導の充実及び実習時における実習校と連携しての学習支援を強化する。

## 国立大学法人愛知教育大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由
<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>3 その他の目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(2) 国際化に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>① 留学生受入数100人を目標に、広報宣伝を強化し、特に、教育研究基金の充実を図り、海外協定校からの留学生の受入及び派遣数を増やす。</p> <p>② 国際学術交流協定締結校を協定未締結地域に広げるなど、協定校を増やし、また、協定校との単位互換・ダブルディグリー制度、研究者交流を進める。更に、JICAをはじめとする国際関係機関等との連携により学生や研究者交流を推進し、国際化を進める。</p>	<p><b>I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</b></p> <p><b>3 その他の目標を達成するための措置</b></p> <p><b>(2) 国際化に関する目標を達成するための措置</b></p> <p>① 留学生受入数100人を目標に、広報宣伝を強化し、特に、教育研究基金の充実を図り、海外協定校からの留学生の受入及び派遣数を増やす。</p> <p>② 国際学術交流協定締結校を協定未締結地域に広げるなど、協定校を増やし、また、協定校との単位互換・ダブルディグリー制度、研究者交流を進める。更に、JICAをはじめとする国際関係機関等との連携により学生や研究者交流を推進し、国際化を進める。</p> <p>③ <u>名古屋大学と三重大学等と連携してグローバル人材の育成に取り組む。</u></p>	<p>文部科学省「国立大学改革強化推進補助金」による事業を実施するため</p>